

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
440016	X-31-B-2-440016	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
生産管理論／生産管理				佐々木 桐子	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
					【1－3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年
					【1－3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年	

授業目的

経営学や経営工学の領域において展開されている「生産管理」を扱います。具体的には、生産管理の史的考察をおこない、経営資源（人、もの、お金、情報）の流れを理解し、科学的なアプローチとして意思決定の諸手法を習得し、さらに生産における諸問題の改善策を提案します。

【関連するディプロマポリシー】

- ・健全な社会生活を営むための常識持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。
- ・情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 1. 生産の概念</p> <p>生産、生産要素、生産工程、生産財、生産性 【前・後】 【必要な時間：3時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、主に重要語句の確認をおこなう。</p> <p>第2回 【授】 2. 生産管理の史的考察①</p> <p>社会の変遷、成行管理、課業管理（小テスト①） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「自動化」と「自動化」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第3回 【授】 3. 生産管理の史的考察②</p> <p>同時管理、自己制御管理、システム管理（小テスト②） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「稼働率」と「可動率」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第4回 【授】 4. 大量生産方式の起源と発展①</p> <p>初期のアメリカ自動車産業（小テスト③） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「省力化」、「省人化」、「少人化」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第5回 【授】 5. 大量生産方式の起源と発展②</p> <p>初期の日本自動車産業、トヨタ生産方式（小テスト④） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 指定された新聞記事を読み、「自動化」に関する部分を抜き出すこと。</p> <p>第6回 【授】 6. 生産の形態、需要予測</p> <p>分類、見込生産と受注生産、需要予測のモデル（小テスト⑤） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 1週間の米ドルの推移から、指定された日の終値を予測すること。</p> <p>第7回 【授】 7. 長期生産計画</p> <p>生産計画の戦略、長期生産計画（小テスト⑥） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 長期生産計画（在庫保管費2円の場合と10円の場合）を策定すること。</p> <p>第8回 【授】 8. 短期生産計画①</p> <p>線形計画法、制約条件、目標関数（小テスト⑦） 【前・後】 【必要な時間：4時間】 利益を最大化する生産計画の制約条件と目標関数を作成すること。</p>	<p>第9回 【授】 9. 短期生産計画②</p> <p>問題①～問題④（小テスト⑧） 【前・後】 【必要な時間：4時間】 利益を最大化する生産計画を立案すること。</p> <p>第10回 【授】 10. 短期生産計画③</p> <p>問題⑤～問題⑥、前回の提出課題の解説（小テスト⑨） 【前・後】 【必要な時間：4時間】 サンドイッチ問題を解くこと。</p> <p>第11回 【授】 11. 生産スケジューリング①</p> <p>2工程フローショップスケジューリング（小テスト⑩） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 多工程フローショップスケジューリングを策定すること。</p> <p>第12回 【授】 12. 生産スケジューリング②</p> <p>多工程フローショップスケジューリング（小テスト⑪） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 カレーライスパーティ問題を解くこと。</p> <p>第13回 【授】 13. 工程計画</p> <p>評価基準、最適工程計画、フォワード方式、バックワード方式（小テスト⑫） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 ABC在庫管理の問題を解くこと。</p> <p>第14回 【授】 14. ABC在庫管理</p> <p>ABC分析、ローレンツ曲線、パレートの法則（小テスト⑬） 【前・後】 【必要な時間：3時間】 パレート図を作図すること。</p> <p>第15回 【授】 15. レポート</p> <p>【前・後】 【必要な時間：16時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、授業全体の流れを理解すること。</p> <p>第16回</p>
---	---

成績評価方法

<小テストのフィードバックについて>

毎回の小テストは、学生ごとに「チェックシート」という小冊子にまとめられ、毎回の授業後に回答を確認をし、次の授業にて返却・解説をおこないます。全体的な傾向や優秀な回答の紹介をもおこないます。

教科書・参考書

教科書：「生産管理 講義ノート」（初回の授業で配付）を使用します。

参考文献：人見勝人著 『新・生産管理工学』 コロナ社、1997。

受講に当たっての留意事項

電卓を持参してください。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

- ・企業における生産の管理全般を理解し、現実の問題へと応用することができる。（小テスト：20%、レポート：30%）
- ・管理に関わる諸問題を発見し、解決する能力を身につけることができる。（小テスト：20%、レポート：30%）

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習